

News Release

平成 22 年 7 月 14 日

NTT インターコミュニケーション・センター(ICC) 夏休みイベント「ICC キッズ・プログラム 2010」開催について

- NTT東日本が運営する文化施設 NTTインターコミュニケーション・センター^{※1}(以下、ICC)では、親子で気軽に楽しめるイベント「ICC キッズ・プログラム2010」を平成22年8月4日(水)から平成22年9月5日(日)まで開催します(入場無料)。
- 「ICC キッズ・プログラム」は、作品に触れることで子どもたちの好奇心と想像力を育む、体験型イベントです。
- 今回は「いったい何がきこえているんだろう」展と題し、普段なにげなく接している「音」に注目し、音と知覚の連動、音と空間や環境の関係性、聴き取り方の変化等、各テーマに合わせたアート作品等を展示します。

※1 日本の電話事業 100 周年記念事業として、また NTT の文化・社会貢献活動の一環として、平成 2 年からプレ活動を開始し、平成 9 年東京都新宿区西新宿(初台)にメディア・アートの展示を中心としてオープンした文化施設。

1. 「ICC キッズ・プログラム」の概要

「ICC キッズ・プログラム」は、最新のコミュニケーション・テクノロジー等を応用した作品やワークショップを通して、子どもたちの好奇心と想像力を育むことを目的に、平成 18 年より開催している夏休みの子ども向けイベントです。今回は、城一裕氏^{じょうかずひろ}(The SINE WAVE ORCHESTRA、東京藝術大学芸術情報センター)の企画監修のもと、作品展示の他にワークショップ等を開催します。

2. 開催期間

平成 22 年 8 月 4 日(水)～平成 22 年 9 月 5 日(日)^{※2} 11:00～18:00

※2 休館日:毎週月曜日

3. 開催場所

NTT インターコミュニケーション・センター(ICC)

東京都新宿区西新宿3-20-2 東京オペラシティタワー 4階～6階
(京王新線 初台駅東口から徒歩 2 分)

4. 入場料

無 料

5. 主な作品

(1) 城一裕 ^{じょうかずひろ} 『ドロー・サウンド』(2008/2010 年)



『ドロー・サウンド』は「音を描く」「絵を奏でる」装置です。実際の紙に筆で絵を描き、その筆の動きを特殊なテーブル「Diamond Touch」で感知し、音へと変換することで、描く行為を音として、また演奏の履歴を絵として表現します。

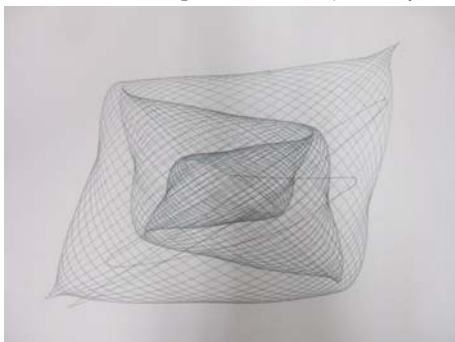
(2) 菅野創 ^{かんのそう} + 山本雄平 ^{やまもとゆうへい} 『テクノフォン・シリーズ』(2010 年)



身のまわりの電気製品は光や電磁波を発しています。通信のために電波や赤外線を発しているものもあります。これらの通常は聞こえない、テクノロジーの声を聴くための道具が『テクノフォン・シリーズ』です。

電磁波、光、磁気カードの磁気ストライプや携帯電話の電波など、テクノロジーが発する様々な音の世界を探検します。

(3) furukawaLab 『ハーモノグラフ 音の視覚化、19世紀の科学エンターテインメント』(2006/2010 年)



ハーモノグラフとは、複数の振り子運動の軌跡を描画する装置です。

今回の展示では、ハーモノグラフの周期振動をコンピューターで音に変換し、視覚と聴覚で体験することができます。

作品展示のほか、ワークショップの開催等、様々な展開を予定しております。
詳細は、別途ICCホームページ (<http://www.ntticc.or.jp/>)にてお知らせします。

6. その他

このほか ICC では、「トイ・ストーリー3の世界展」(主催:NTTラーニングシステムズ、協賛:NTT東日本、協力:NTTアイティ、平成22年9月5日(日)まで、有料)を開催しています。こちらも併せてご覧ください。
「トイ・ストーリー3の世界展」ホームページ (<http://nttlls-exhibition.jp/toy3/>)